



第6回高松国際ピアノコンクール

The 6th Takamatsu International
PIANO COMPETITION

2026
2.10-2.22
<https://www.tipc.jp>

第6回高松国際ピアノコンクール

募集要項

Application Guideline

目 次

1	コンクール概要	4
2	審査員	4
3	申込方法	5
4	予備審査	6
5	コンクールへの出場	7
6	課題曲	9
7	賞及び賞金	12
8	入賞者披露演奏会	13
9	その他	13
	アクセス	26

CONTENTS

1	Competition Overview	15
2	Jury	16
3	Procedures	16
4	Preliminary Selection	17
5	Participation in the Competition	18
6	Repertoire	20
7	Prizes	24
8	Prizewinners' Concert	25
9	Miscellaneous	25
	Access	27

第6回高松国際ピアノコンクール

ともに夢を ともに感動を

募集要項

Japanese



1 コンクール概要

1-1 趣 旨

高松国際ピアノコンクールは、2006年に四国で初めての地元主導の国際的な音楽コンクールとして開催し、以後4年ごとに開催する。

世界の優れた若手ピアニストを発掘し育てていくことを目的とし、地元の若者たちには自己の成長に向けた“夢”と“目標”を育む好機を与え、一流の音楽家とふれあう機会を通じて国際交流の輪を広げ、地域の音楽文化の発展に貢献することを目指す。

1-2 会 場

サンポートホール高松 大ホール
〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号
<https://www.sunport-hall.jp>

1-3 開催日程

出場者受付・出場順抽選	……………	2026年2月 7日(土)	
出場者説明会・会場視察	……………	2月 8日(日)	
ピアノ選択	……………	2月 8日(日)～ 9日(月)	2日間
第1次審査	……………	2月10日(火)～12日(木)	3日間
第2次審査	……………	2月14日(土)～15日(日)	2日間
第3次審査	……………	2月17日(火)～18日(水)	2日間
本選	……………	2月21日(土)～22日(日)	2日間
表彰式	……………	2月22日(日)	
入賞者披露演奏会	……………	2月23日(月)	

2 審査員

審査員長	青柳 晋 (日本)
審査員	ヴインチェンツォ・バルツァーニ (イタリア)
	ダン・タイ・ソン (ベトナム)
	パスカル・ドゥヴァイヨン (フランス)
	海老 彰子 (日本)
	池辺 晋一郎* (日本)
	ヤン・イラーチェク・フォン・アルニム (ドイツ)
	ヨヘヴェド・カプリンスキー (アメリカ)
	キム・デジン (韓国)
	カタジーナ・ポボヴァ＝ズイドロン (ポーランド)
	アンティ・シーララ (フィンランド)

*作曲家

※審査員については、姓のアルファベット順・敬称略

3 申込方法

3-1 出場資格

1991年1月1日～2011年1月1日までに出生した者

3-2 申込期間

2025年3月1日(土)～8月20日(水)24:00(日本時間)

3-3 申込方法

申し込みはオンライン受付のみとする。

公式サイト(<https://www.tipc.jp>)上の「エントリーシート」に必要事項を入力し、次の(A)～(C)のデータをアップロードする。データは、申込期間内であれば入力事項の修正・追加が可能。

- (A) 予備審査課題曲の演奏を収録した動画データ(MP4、AVI、MOV、WMVいずれかの形式にする)
- (B) 最近撮影したカラー写真(上半身／解像度300dpi以上推奨)
※コンクールプログラム、その他広報媒体等掲載用に使用する。
- (C) パスポートもしくは氏名・国籍・生年月日が記載された公的書類をPDF化したファイル

3-4 注意事項

- (A) 申込内容に不備がある場合や記入漏れがある場合には予備審査の対象とならない。
- (B) オンラインでのエントリー後1週間以内に受理メールが届かなかった場合、事務局に連絡すること。

4 予備審査

4-1 選考方法

コンクールの出場者を決定するため、応募者から提出されたデータやファイル及び動画ファイル(MP4、AVI、MOV、WMVいずれかの形式にする)により予備審査を行う。

予備審査委員会	審査員長	青柳 晋 (日本)
	審査員	パスカル・ドゥヴァイヨン (フランス)
		ソフィア・グルヤク (ロシア)

※審査員については、姓のアルファベット順・敬称略

4-2 予備審査課題曲

下記の(A)、(B)、(C)の中から各1曲、計3曲を演奏したものを撮影し、動画ファイル(MP4、AVI、MOV、WMVいずれかの形式にする)として収録すること。

(A) 第3次審査で指定するベートーヴェンの課題曲より1曲を選び、その第1楽章を演奏すること。

※作品101については、第1楽章及び第2楽章
なお、予備審査で演奏した曲を第3次審査で選んでもよい。

(B) ショパン 練習曲作品10又は作品25より1曲を選び、演奏すること。

(C) バルトーク、スクリャーピン、ラフマニノフ、ドビュッシー、ストラヴィンスキー、プロコフィエフの練習曲より1曲を選び、演奏すること。

4-3 結果通知

審査結果は2025年11月5日(水)までに、申込者全員に通知する。なお、この結果に関しては、いかなる異議及び不服の申し立ても受け付けない。

※予備審査通過者には、「コンクール出場に関する同意書」及びコンクールに関する詳細資料、委嘱作品楽譜を送付する。

5 コンクールへの出場

5-1 出場料の支払い

コンクール出場料として日本円で20,000円を2025年12月15日(月)までにPayPalで決済すること。
期日までにコンクール出場料が支払われない場合は、コンクールへの出場を取り消すものとする。

5-2 出場者登録

出場者は、2026年2月7日(土)に実施する出場者受付において、出場者登録手続きと出場順の抽選を行い、翌日の出場者説明会に出席することで登録を完了する。ただし、審査員長がやむを得ない事情があると認めたときは、この限りでない。

5-3 出場順の決定

出場者は受付時において本人の抽選により出場順を決定する。

※指定の順序通りに演奏できなかった場合、コンクール出場の資格を失う。
ただし、審査員長が特に必要と認めるときは、演奏の順序を変更する場合がある。

5-4 旅費補助

【海外在住の出場者】

全額を支給する。

※国外在住の日本人は、国外在住証明などの提出が必要。

【日本在住の出場者】

旅費補助の対象とならない。出場者の負担とする。

※出場者に対するコンクール会場及び練習会場と宿泊先(主催者が指定した宿泊施設に限る。)の送迎については、必要に応じて交通手段を無償で提供する。

5-5 滞在費補助

出場者の滞在費については、開催日の3日前(2026年2月7日(土))から下記の期日まで、主催者が指定した宿泊施設に限り、主催者がその宿泊費(朝食込み)のみを負担する。それ以外の滞在費(飲食費・通信費等)は全て出場者本人が負担する。

- 第1次審査出場者：第1次審査終了の翌朝まで
- 第2次審査出場者：第2次審査終了の翌朝まで
- 第3次審査出場者：第3次審査終了の翌朝まで
- 本選出場者：入賞者披露演奏会の翌朝まで

※審査終了後のホームステイを希望する場合には、ホストファミリーを紹介する。

5-6 ピアノ選択

- (A) 出場者は、事務局が定めるピアノを試弾し、演奏に使用するピアノを選択する機会が与えられる。
- (B) 第1次審査、第2次審査、第3次審査の結果発表後1時間以内に使用するピアノを変更することを認める。ただし、その際に試弾はできない。

5-7 練習

コンクールの期間中において、コンクールの各審査段階の出場者に対し、主催者が無償で提供する練習会場及び時間は、次のとおりとする。

- (A) 出場者受付日(2026年2月7日(土))は、出場者本人の希望がある場合は、可能な限り練習会場を準備するが、会場の都合により、希望に添えない場合もある。
- (B) 出場者説明会の日から第1次審査終了までピアノを備えた部屋を1日につき4時間。第2次審査は、練習会場の都合により4時間以上練習することができる。
- (C) 第3次審査及び本選出場者は、第2次審査終了の翌日から本選審査終了日まで、ピアノを備えた1部屋を使用して12時間練習することができる。
- (D) 第3次審査における事前の室内楽奏者との練習の機会は1回とし、原則として90分以内とする。また、本番前に、ゲネプロを行う。
- (E) 本選における事前のオーケストラとのリハーサル機会は1回とし、原則として90分以内(指揮者との打合わせ時間を含む。)とする。また、本番前に、ゲネプロを行う。

6 課題曲

審査は、下記の各審査段階における課題曲の中から、出場者が選択した楽曲を演奏することにより行う。

6-1 第1次審査

下記の(A)、(B)、(C)全てのカテゴリーより選曲し、(A)、(B)、(C)の順に演奏すること。
演奏時間は25分以内とする。

※演奏時間を超過した場合、演奏を中断させることがあるが、審査に影響はないものとする。

(A) 次のバッハ作品より1曲を選び演奏すること。

- 半音階的前奏曲とフーガ ニ短調 BWV 903
- 幻想曲とフーガ イ短調 BWV 904
- トッカータ 嬰ヘ短調 BWV 910
- トッカータ ハ短調 BWV 911
- トッカータ ニ長調 BWV 912
- トッカータ ニ短調 BWV 913
- トッカータ ホ短調 BWV 914
- トッカータ ト短調 BWV 915
- トッカータ ト長調 BWV 916
- イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV 971
- カブリッチョ《最愛の兄の旅立ちに寄せて》変ロ長調 BWV 992

(B) 次のリスト作品のエチュードから1曲を選択し演奏すること。

《超絶技巧練習曲》S. 139

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 2. イ短調 | 4. マゼッパ | 5. 鬼火 | 6. 幻影 |
| 7. エロイカ | 8. 野生の狩 | 10. ヘ短調 | 12. 雪嵐 |

バガニーニによる大練習曲集 S. 141 より

- | | | |
|--------|---------|------------------|
| 1. ト短調 | 2. 変ホ長調 | 3. 嬰ト短調《ラ・カンパネラ》 |
| 4. ホ長調 | 5. ホ長調 | 6. イ短調 |

3つの演奏会用練習曲 S. 144 より

- 2. 軽やかさ
- 3. ため息

2つの演奏会用練習曲 S. 145 より

- 2. 小人の踊り

(C) 次の作曲家の作品より1曲または数曲を選択し演奏すること(複数の作曲家も可)。
フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、メシアン、スクリャーピン、プロコフィエフ、バラキレフ、
ショスタコーヴィチ、アルベニス、ファリャ、グラナドス、バルトーク、ヤナーチェク、ブゾーニ
(オリジナル曲のみ)

※予備審査曲と重複してはいけない。

6-2 第2次審査

下記の(A)、(B)の順に演奏する。演奏時間は合計で45分以内とし、繰り返しは自由とする。

※演奏時間を超過した場合、演奏を中断させることがあるが、審査に影響はないものとする。

(A) 次のモーツァルトのソナタより1曲を選び、全楽章を演奏すること。

イ短調 K. 310 変ロ長調 K. 333 ハ短調 K. 457
変ロ長調 K. 570 ニ長調 K. 576

(B) シューマン、ブラームス、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパンより任意の楽曲を選び、演奏すること。

※複数の作曲家も可

※ソナタの場合は全楽章を演奏すること。

6-3 第3次審査

下記の(A)、(B)、(C)の順に演奏すること。

(A) 次のベートーヴェンのソナタより1曲を選び、全楽章を演奏すること。

なお、演奏の繰り返しについては、括弧内の指示どおりとし、それ以外の繰り返しについては、減点の対象となる。

第3番 ハ長調 Op. 2-3(繰り返しなし、第3楽章のダ・カーポあり)

第4番 変ホ長調 Op. 7(繰り返しなし、第3楽章のダ・カーポあり)

第21番 ハ長調 Op. 53(繰り返しなし)

第23番 ヘ短調 Op. 57(第2楽章の繰り返しあり、第3楽章はコーダの繰り返しのみあり)

第28番 イ長調 Op. 101(第2楽章冒頭の8小節目の繰り返しあり、ダ・カーポもあり、その他の繰り返しは省略すること)

第31番 変イ長調 Op. 110(第2楽章の繰り返しあり)

第32番 ハ短調 Op. 111(第1楽章の繰り返しなし、第2楽章の繰り返しあり)

(B) 第6回高松国際ピアノコンクール委嘱作品を演奏する。

委嘱曲作曲家 桑原 ゆう

(C) 下記のピアノ四重奏曲より1曲を選択し、事務局が指定する室内楽奏者と共演すること。

楽譜は、シューマンとブラームスはヘンレ版を、サン＝サーンスはデュラン社版を推奨する。

繰り返しは行わない。ただし、シューマンの第3楽章の繰り返しは行うことができる。

シューマン：四重奏曲 変ホ長調 Op. 47

ブラームス：四重奏曲 第3番 ハ短調 Op. 60

サン＝サーンス：四重奏曲 変ロ長調 Op. 41

〈室内楽奏者〉 ヴァイオリン ヴィオラ チェロ
 北田 千尋 田原 綾子 笹沼 樹
 篠原 悠那 松実 健太 長谷川 陽子

6-4 本 選

下記のピアノ協奏曲のうち任意の1曲を選択し、主催者が指定するオーケストラと共演する。

- (A) ベートーヴェン
 - 協奏曲 第3番 ハ短調 Op. 37
 - 協奏曲 第4番 ト長調 Op. 58
 - 協奏曲 第5番 変ホ長調 Op. 73「皇帝」
- (B) ショパン
 - 協奏曲 第1番 ホ短調 Op. 11
 - 協奏曲 第2番 ヘ短調 Op. 21
- (C) シューマン
 - 協奏曲 イ短調 Op. 54
- (D) リスト
 - 協奏曲 第1番 変ホ長調
 - 協奏曲 第2番 イ長調
- (E) プラームス
 - 協奏曲 第1番 二短調 Op. 15
- (F) サン＝サーンス
 - 協奏曲 第2番 ト短調 Op. 22
 - 協奏曲 第4番 ハ短調 Op. 44
 - 協奏曲 第5番 ヘ長調 Op. 103
- (G) チャイコフスキー
 - 協奏曲 第1番 変ロ短調 Op. 23
- (H) グリーク
 - 協奏曲 イ短調 Op. 16
- (I) ラフマニノフ
 - 協奏曲 第2番 ハ短調 Op. 18
 - 協奏曲 第3番 二短調 Op. 30

オーケストラ 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

指揮 広上 淳一

6-5 注意事項

- (A) 演奏はすべて公開される。
- (B) 演奏審査において、時間の都合により、楽曲の一部を省略させることがある。
- (C) 演奏は、第3次審査における委嘱曲及びピアノ四重奏曲を除き、すべて暗譜で行うこと。
- (D) エントリーシートに記載したコンクールの演奏曲目の変更は、2025年12月15日(月)までに電子メールでコンクール事務局に届け出し(E-mail: info@tipc.jp)承認されたものに限る。

7 賞及び賞金

第1位 3,000,000円、賞状	特別賞 (予定)
第2位 1,000,000円、賞状	最優秀室内楽演奏者賞 100,000円、賞状
第3位 500,000円、賞状	最優秀委嘱作品演奏者賞 30,000円、賞状
第4位 300,000円、賞状	香川県知事賞
第5位 200,000円、賞状	高松市長賞
	公益財団法人松平公益会賞
	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー理事長賞
	公益財団法人高松市文化芸術財団理事長賞

【1位入賞者副賞】

(A) 日本及び海外でオーケストラとの共演

(B) 日本及び海外のホールでのリサイタル

※(A)(B)いずれの演奏会においても、出演料、旅費及び宿泊費は当組織委員会が負担する。

※出演料は日本円で200,000円

※(A)及び(B)の演奏会への出演については、これを断ることはできない。

※香川県での演奏以前に、日本において他の演奏会に出演する場合には、事前にコンクール事務局へ届け出なければならぬ。

現在確定している優勝者のための演奏会

【オーケストラとの共演】

2026/10/18(日) 第6回TIPC優勝者ガラコンサート

(瀬戸フィルハーモニー交響楽団、サンポートホール高松 大ホール、香川県高松市、日本)

2027年

プロオーケストラとの共演(東京都内、日本)

(日程調整中)

シンフォニックコンサート in ソンドリオ(ソンドリオ、イタリア)

シンフォニックコンサート in バカウ(バカウ、ルーマニア)

【ソロリサイタル】

(日程調整中)

ピアノリサイタル(ミラノ、イタリア)

ピアノリサイタル(ローマ、イタリア)

ピアノリサイタル(オシモ、イタリア)

(参考) 第5回高松国際ピアノコンクール 優勝者 フィリップ・リノフ 副賞ツアー

【オーケストラとの共演】

2023/10/15(日) 瀬戸フィルハーモニー交響楽団第39回定期演奏会

(レクザムホール 大ホール、香川県高松市、日本)

2024/4/21(日)

シンフォニックコンサート in ソンドリオ(ソンドリオ、イタリア)

【ソロリサイタル】

2023/10/17(火)

ピアノリサイタル(Hakuju Hall、東京都渋谷区、日本)

2024/4/14(日)

ピアノリサイタル(ローマ、イタリア)

2024/4/15(月)

ピアノリサイタル(オシモ、イタリア)

2024/4/18(木)

ピアノリサイタル(プスト・アルシーツィオ、イタリア)

2024/4/19(金)

ピアノリサイタル(ソンドリオ、イタリア)

8 入賞者披露演奏会

第1位から第5位入賞者は、2026年2月23日(月)サンポートホール高松大ホールで開催する入賞者披露演奏会に出演すること。ただし、この演奏会の出演料は支払わない。

9 その他

9-1 査証取得

日本への入国査証が必要な場合は、出場者本人が本人の責任で査証を取得すること。査証取得のため招聘状等を必要とする場合は、「コンクール出場に関する同意書」の提出の際にあわせてコンクール事務局に申請すること。

9-2 保 険

本コンクール期間中及び本コンクールに付随する事業の開催期間中における出場者の身体的、物質的もしくは精神的な被害及び加害に対して、主催者は原則補償しない。各出場者の責任において保険加入すること。

9-3 隣接著作権

コンクールで行われるすべての演奏及び開会セレモニー、表彰式、コンクール終了後に行う関連演奏会等に関し、出場者が有する放送権、上演権、録音権、録画権、出版権、肖像権等の諸権利は、主催者に無償譲渡するものとする。

9-4 個人情報の保護

本コンクールで収集した応募者及び出場者の個人情報は、日本の法律に基づき主催者が管理し、本コンクールの運営のためにのみ使用する。

9-5 日本の法律への準拠

- (A) 出場者への補助費、賞金及び出演料は、日本の税法に基づく税金を含むものとする。
- (B) この要項に関して発生する問題は、日本語の本要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

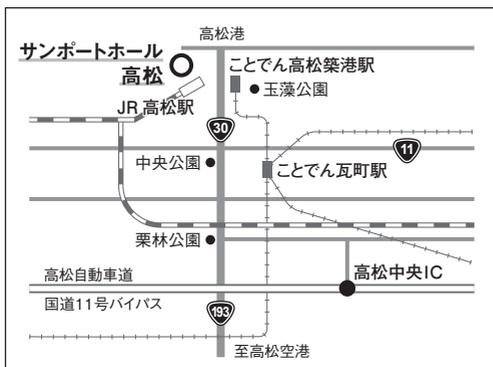
アクセス

Access

アクセス

- JR高松駅から徒歩3分
- ことடன்高松築港駅から徒歩5分
- 高松港から徒歩2分
- 高松自動車道・高松中央ICより国道193号経由、車で20分
- 高松空港から45分（空港リムジンバス JR高松駅行き）

The 6th Takamatsu International PIANO COMPETITION 2026 2.10-2.22





高松国際ピアノコンクール組織委員会

〒760-0053 香川県高松市田町11-5 セントラル田町ビル 6F

TEL:087-812-5583 FAX:087-812-5584

e-mail: info@tipc.jp

<https://www.tipc.jp>



Takamatsu International Piano Competition Organizing Committee

Central Tamachi Bldg, 6F, 11-5, Tamachi,
Takamatsu, Kagawa, 760-0053, JAPAN

TEL:+81-87-812-5583 FAX:+81-87-812-5584

e-mail: info@tipc.jp <https://www.tipc.jp>



WORLD FEDERATION
OF INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITIONS



Member of the
Alink-Argerich
Foundation



Arts Fund for the Creation of Society
Association for Corporate Support of the Arts